

あれ、誤字？

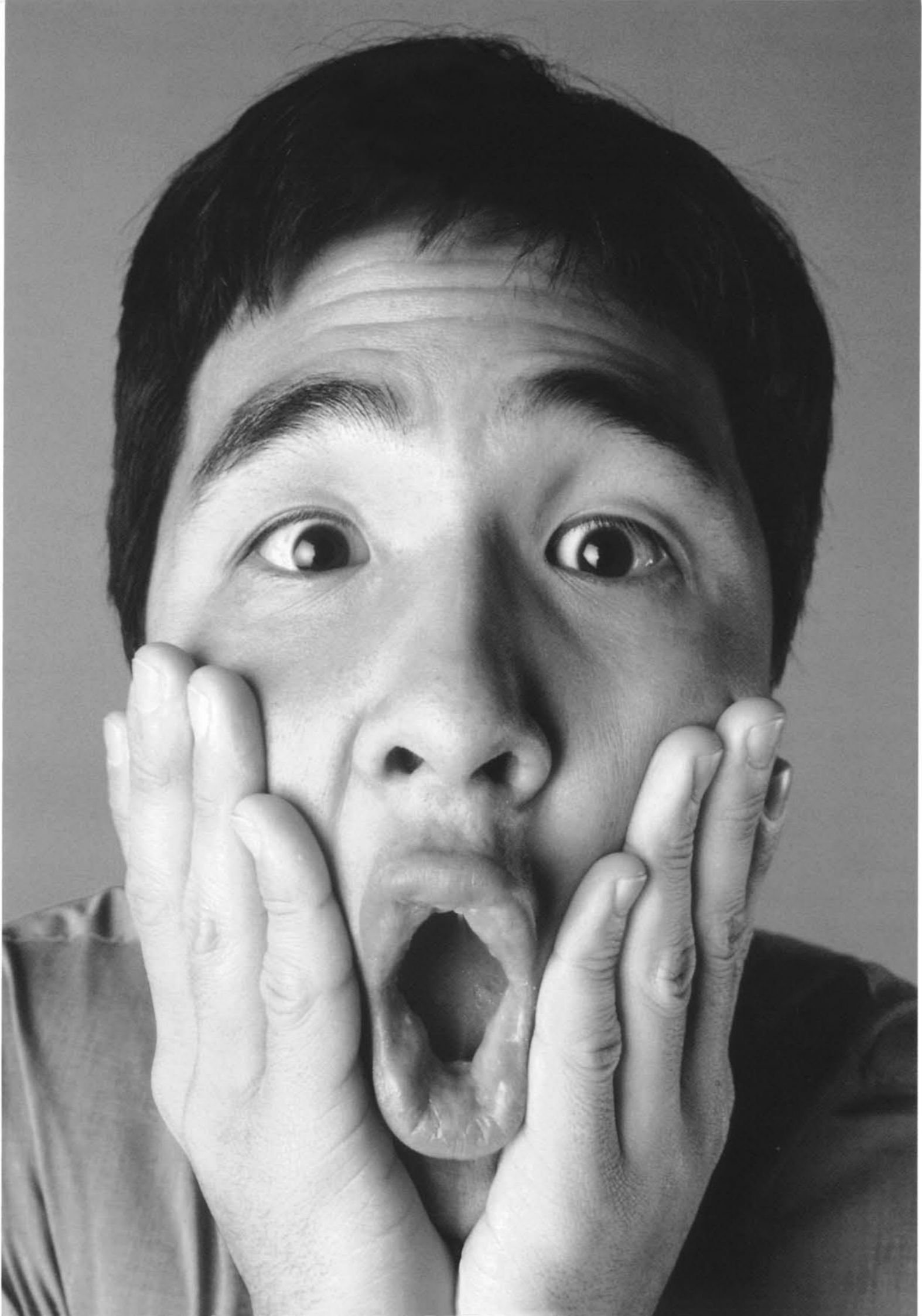
歯命

いえ、違います！

「歯」という漢字には、古くから「年齢」という意味もありました。昔の人たちは、それほど歯を健康の基本と考えていたのでしょう。歯が丈夫でたくさん残っていれば長生きできる。まさに「歯は命」です。

# そのイベントは 命 歯

高齢者が増加すれば、  
医療費が増加するのは当たり前……。  
ほんとうにそうなのでしょうか。  
そこからは、医療費の患者負担を増やすしかない、  
という国民にとってネガティブな  
選択肢しか見えてきません。  
歯と口の健康は、全身の健康に  
深いかかわりがあります。  
いま「歯は命」に目を向ければ、  
国だけでなく、国民にとっても  
ポジティブな選択肢が見えてくるはずですよ。



超高齢社会でも、  
国民医療費は増えないって？！

なぜなら

## 歯と口の健康は、国民医療費の増加を抑えます。

歯と口の健康は口のなかだけの問題ではありません。歯の喪失で咀嚼力が弱まることは、食生活のたのしみを奪うだけでなく、全身の健康を損なうリスクを高めます。また、成人の8割がかかっている歯周病は、さまざまな生活習慣病とかかわりがあります。歯の喪失や歯周病を予防することは、全身の健康を保ち、ひいては国民医療費の増加を抑えることにつながります。

歯の数が多いほど医療費が低い



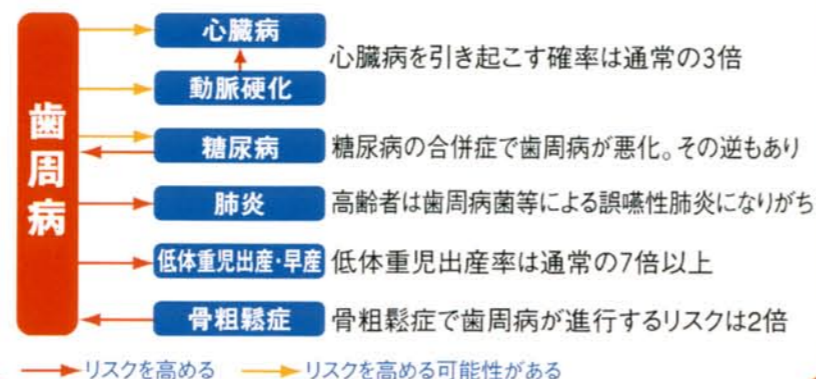
歯周病が軽度なほど医療費が低い



「高齢者における歯の健康と医療費に関する実態調査」  
香川県老人医療費適正化に関する検討委員会 (平成17年7月)

### 歯周病と生活習慣病との深いかかわり

歯周病は歯の喪失をもたらすだけでなく、その細菌がつくる毒素が血液中にはいることで全身の健康に影響します。

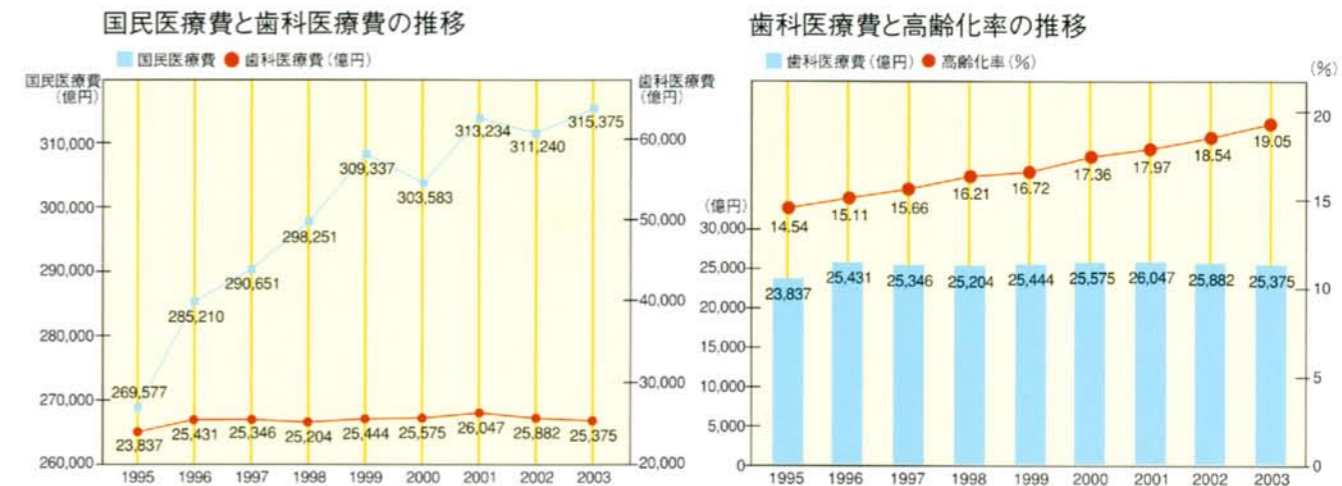


しかるに

## 国の医療対策における歯科医療の位置づけは不十分です。

これまでの推移を見ると、国民医療費が増加する一方で、歯科医療費は伸びませんでした。また、高齢化が進行してきたにもかかわらず、歯科医療費はここ数年ほとんど変化していません。これは、社会の変化に対応した国の取り組みが十分になされてこなかったことを示しています。

### 国民医療費と高齢化率は伸びているが、歯科医療費は増えていない



## 現状のままだと、さらなる高齢者の増加とともに医療費が増大することは避けられません。

10年きざみでしか受けられない歯周疾患検診や医療費の自己負担の増加は、結果的に、国民の全身の健康を損なうことになってしまいます。それは、国民医療費をアップさせます。

歯周疾患検診は40歳、50歳、60歳、70歳の10年きざみでしか受けられない  
医療費の自己負担が多くなれば、自発的な歯科健診を受ける意欲が低下する

↓  
歯科疾患の発見が遅れ重症化する  
↓  
生活習慣病にかかるリスクが高まる  
↓  
生活習慣病にかかってはじめて治療を受ける

**国民医療費がアップ**

だから

## 国の生活習慣病対策に 歯科を組み入れましょう。

いまこそ、歯科医療の充実が望まれます。とくに「健康長寿」に向けた国の生活習慣病対策においては、歯科疾患の予防に積極的に取り組む必要があります。歯と口の健康なくして「健康長寿社会」とはいえません。超高齢社会における医療費の削減は治療の抑制ではなく、健康で長生きすることでこそ実現できるのです。



## 生活習慣病対策に 歯周疾患対策（健診と保健指導） を組み入れる



## 歯周疾患検診を 毎年受診できるようにする

そうすれば

## 歯科医療の充実は、国だけでなく、 国民に大きな幸せをもたらします。

多くの国民が高齢者になると、収入よりも自分や配偶者の健康や病気のことによる不安を感じます。歯と口の健康は、食事をおいしく食べて、会話をたのしむ日常生活を豊かにし、全身の健康を支えてくれます。これこそが真の「健康長寿」の姿です。

### おいしく

20本以上の歯が残っていれば、硬い食品でも満足して噛めることが科学的に明らかになっています。高齢者にとって、日々のたのしみは「食べること」。だから、歯と口が健康な人ほど日々の暮らしが充実したものになります。

### 元気で

残っている歯が多く、よく噛む習慣をもっている高齢者ほど、脳は活性化し認知症になる危険性が低下します。また、高齢者を対象にした調査によると、健康な歯と口の人ほど視聴覚機能に問題がなく、運動機能が高いこともわかっています。

### 長生き

健康な歯と口は、日本人の死亡原因上位である心臓病や肺炎といった生活習慣病にかかるリスクを軽くします。また、寝たきりの人が噛めるようになることで起き上がれるようになるなど、リハビリテーションの効果を高める作用もあります。

1997年から1998年にかけて厚生科学研究「高齢者の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究」の一環として福岡県・愛知県・新潟県・岩手県で行われた調査データを基にしています。



**社団法人日本歯科医師会**

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20

電話 03-3262-9321